

【記載例】直前3年の各事業年度における工事施工金額（様式第3号）

様式第三号（第二条、第十三条の二、第十三条の三関係）

工事経歴書と一致

（用紙A4）

許可を受けている全ての業種について記入
 ※実績がない業種も金額を「0」として記入してください。

直前3年の各事業年度における工事施工金額

（税込・税抜／単位：千円）

事業年度	注文者の区分		許可に係る建設工事の施工金額			その他の建設工事の施工金額	合計
			土木一式工事	建築一式工事	管工事		
第10期 令和4年4月1日から 令和5年3月31日まで	元請	公共	0	0	0	0	0
		民間	5,000	5,000	1,000	1,000	12,000
	下請		2,000	0	1,000	1,000	4,000
	計		7,000	5,000	2,000	2,000	16,000
第11期 令和5年4月1日から 令和6年3月31日まで	元請	公共	0	0	0	0	0
		民間	10,000	10,000	0	500	20,500
	下請		4,000	0	2,000	0	6,000
	計		14,000	10,000	2,000	500	26,500
第12期 令和6年4月1日から 令和7年3月31日まで	元請	公共	0	0	0	0	0
		民間	33,000	17,500	0	0	50,500
	下請		2,000	52,500	32,000	0	86,500
	計		35,000	70,000	32,000	0	137,000
	元請	公共					
	下請						
	計						

直前の決算期から起算して過去3年間分を記入
 ※過去3年間で決算期を変更した場合は、記入する事業年度は4期に渡る場合があります。

各業種の工事経歴書の合計額と一致

許可を有しない建設工事の施工金額の合計を記入

損益計算書の「完成工事高」と一致

【その他記入上のルール】

- 業種追加、般特新規の場合、追加する業種についての実績を記入し、それ以外の業種（既に許可を受けている業種）については「その他の建設工事の施工金額」欄にまとめて記入すること。
- 許可を受けている業種が5業種以上の場合は、複数ページに分けて記入すること。このとき、「その他の建設工事の施工金額」及び「合計」欄は、最終ページのみに入力すること。